

「令和5年度猪名川流域下水道原田処理場3系汚泥消化タンク設備工事」を受注

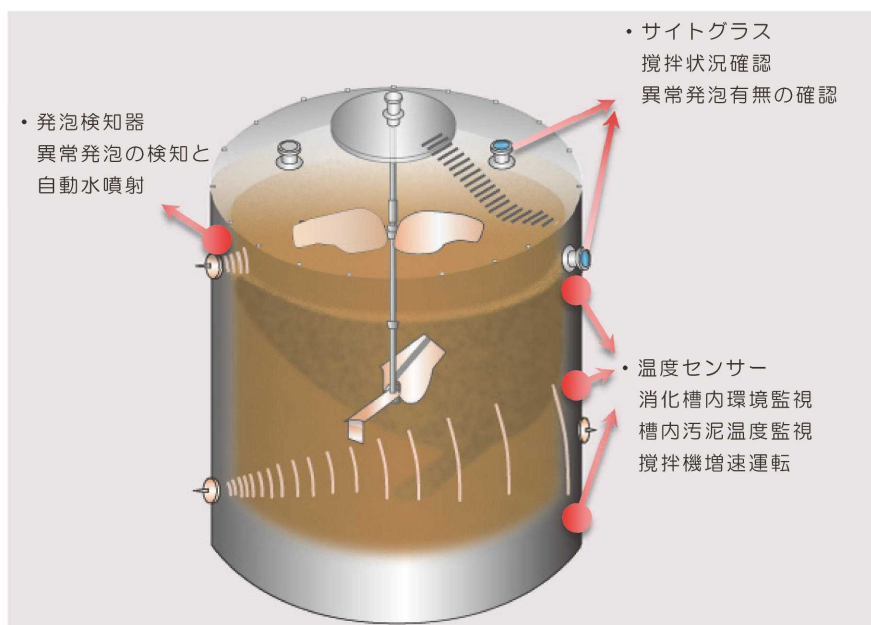
当社は、豊中市から、「令和5年度猪名川流域下水道原田処理場3系汚泥消化タンク設備工事」（以下、「本工事」）を受注し、2023年12月28日、工事請負契約を締結いたしました。

本工事は、原田処理場内（豊中市）において、消化槽を増設するものであり、安定した運転実績の多い中温・中濃度方式の鋼板製消化槽を採用しています。建設する鋼板製消化槽は、従来のコンクリート製タンクと比べ、建設工期の大幅な短縮、建設費の低減が可能となります。配置されたセンサによって槽内が可視化されることで、内部状況の把握が容易となり、消化性能低下の防止、安全運転にも寄与しています。また、下水汚泥の減量化・安定化技術である嫌気性消化は、これまで減量化を主要な目的としてきましたが、消化の過程で発生する消化ガスが、カーボンニュートラルなクリーンエネルギーであるため、発電等に有効活用することで化石燃料の節減とCO₂削減に貢献することができます。

猪名川流域下水道原田処理場は、豊中市・池田市・箕面市・豊能町・伊丹市・川西市・宝塚市・猪名川町の6市2町の広域な下水を処理し、人々の日々の暮らしを支えています。当社は「今を越える発想で、健やかな環境と暮らしを次世代へ」をミッションとするなかで、汚泥のエネルギー化技術を通じて、下水処理場の温室効果ガス削減に貢献して参ります。

本工事の概要

- （1）工事内容：3系汚泥消化タンク設備の増設
 - ①汚泥消化タンク設備 1基（鋼板製消化槽6 000m³）
 - ②補機設備 1式
 - ③製作・据付・調整 1式
- （2）工事場所：原田処理場内（豊中市原田西町1番1号）
- （3）工期：契約締結日～2026年2月27日
- （4）発注方式：一般競争入札
- （5）契約金額：14億5百万円（消費税抜）



鋼板製消化槽の運転支援技術